

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	和泉商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 山本 恭弘
	所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3丁目1-10
	担当者	職・氏名 中小企業相談所 所長 味谷 厚志
	連絡先	T E L（直通）： 0725-53-0320 F a x： 0725-53-5959 E - m a i l： miya@izumicci.jp
①設立年月日	平成6年4月1日	
②職員数 （うち経営指導員数）	17名（経営指導員8名）（令和6年3月31日現在）	
③所管地域	和泉市	
④管内事業所数	5887（令和3年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数	4238（令和3年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）	2323（組織率39.46%）（令和6年3月31日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
□主な事業概要（定款記載事項等）		
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 ③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 ④輸出品の原産地証明 ⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 ⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん ⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 ⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 ⑨行政庁から委託を受けた事務 ⑩社会一般の福祉の増進に資する事業 ⑪国際親善の増進を図る事業 ⑫上記のほか、商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理し、その他商工会議所の目的を達成するために必要な事業		

(1) 事業の目標

多くの小規模事業者がまだまだ新型コロナウイルス感染症の影響により、自己資本並びに収益基盤が脆弱化している状況だが、アフターコロナ・ウィズコロナ時代に向け、外部環境の変化への対応と内部環境の改善及び経営基盤拡充を図ることを目的とする。小規模事業者の経営課題の解決に向けては、これまでも実施している「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援を更に強化し、個社支援及び面的支援を展開していく。コロナ禍における経営手法に関しては、業種、業態、事業規模及び企業背景により様々であり、多様な支援手法が必要となるため、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、適時情報提供と支援策の提案実施を迅速に推進していく。セミナーについては積極的にリアル開催を実施し、小規模事業者に対して情報提供を実施していく。もしコロナが再拡大してきた際は、リモートに切り替えるなど中止するのではなく臨機応変に対応し情報提供が遅延しないようにする。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

〔経営相談支援事業〕

新型コロナウイルス収束により、商業事業者においては売上は回復傾向にあるものの物価高騰による利益薄で経営圧迫が見受けられる。また製造業・建設業等のBtoB事業者に関しても、材料調達に支障が出たり賃上げやインボイス制度などWITHコロナ・AFTERコロナに向けた動きが見受けられ、課題解決に向けて個社支援を実施した。

〔専門相談支援事業〕

小規模事業者が直面する専門的な課題解決に向けて当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により、経営指導員同席による三者面談を迅速に実施した。

〔地域活性化事業〕

「求人・求職マッチング事業」リアルで年2回に亘り事業を実施し、人手不足の解消につながるように「雇用」にも至るよう注力した。「大阪・関西万博開催に向けた機運醸成事業」では2025年に開催される大阪・関西万博の開催概要や出展情報などの紹介を行うことで万博出展への意欲を高めると共に自社商品の販売意欲の向上を図った。「大阪府立南大阪高等職業技術専門学校活用事業」では技専校を活用し、スキルアップを図ると共に近隣取引先の開拓を行うことで売上拡大やサプライチェーンの効率化を図るために実施した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

〔経営相談支援事業〕

資金調達、資金繰り支援を想定していたが、公庫や保証協会によるコロナ融資の返済が始まっている中、価格高騰や賃上げ等厳しい経営状況が続いているため、借り替えの相談が多かった。また令和5年10月から始まったインボイス制度などの税務相談が多く、厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出していた。また昨年度に引き続き、各種補助金、助成金等の施策に関しても早期に情報提供を行い、周知及び適時活用を促す事ができた。

〔専門相談支援事業〕

本事業に関しては、コロナ禍からの回復傾向にある事業所から今後の販路拡大のための戦略やインボイスに対応するための相談等が多く、幅広く相談件数はあった。相談事案に適合した提携専門家との三者面談を早期に実施した事により、迅速な課題解決に繋げる事ができた。

〔地域活性化事業〕

求人求職マッチングフェア、大阪・関西万博開催に向けた機運醸成事業、大阪府立南大阪高等職業技術専門学校活用事業は、当初の事業計画に沿った実施内容とする事ができ、参加事業所からも高い満足度を得る事ができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

〔経営相談支援事業〕

ウィズコロナ・アフターコロナに向けた経営維持及び改善支援が多く、緊急を要する経営課題の解決に向けてスピード感を重視した支援を実施した。直面する経営課題の解決のみならず、今後を見据えた経営基盤の立て直し及び強化を図るための中長期経営計画構築に向けての支援に一層注力していく事の必要性が明確になった。

〔専門相談支援事業〕

本事業においては、迅速対応により小規模事業者の支援ニーズに対応しているが、今後更なる事業効果を高めるため、支援後のアフターフォローをより強化していく。

〔地域活性化事業〕

売り手市場となっている昨今、求職者はインターネットを通じて企業と直接やり取りをしたり情報収集を行うため集まりにくくなっている。優良企業が多くあるため広報活動により力を入れることで求職者の目につく周知方法を模索すると同時に、地元の大学等との連携を図りながら事業を実施していく必要もあると感じた。またより優れた人材を確保するだけでなく、本事業で採用された人材が離職していないかの調査も実施して行く。

(5) 次年度の取り組み

今年度は、アフターコロナ時代となった今日の経営基盤の再構築を図るための事業運営手法についての相談が増加している。来年度はコロナ融資の返済が開始されてきているため金融支援（資金調達・借り替え資金）についての相談が増加すると思われる。厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出しているため、小規模事業者の経営課題の解決に向けては、引き続き「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援及び個者支援も更に強化していく。

また、コロナ禍で異業種交流会などが中止になっていたが、今後は小規模事業者も積極的に交流を通じた営業活動を実施したいという声も多いため、業種、業態等に応じていくために多様な支援手法が必要となる。そのために、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、適時情報提供と支援策の提案実施を迅速に推進していく。

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

今年度は、インボイス制度や労務相談などアフターコロナを見据えた事業運営手法についての相談が増加した。コロナ融資の返済が始まり資金繰り悪化による返済条件変更についての相談が少し増えてはいるものの、厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出していた。

令和5年10月から始まるインボイス制度についての関心が多く、制度内容や適正な税務申告など記帳支援及び税理士の専門相談支援事業が増加した。コロナ禍からの回復を目指して経営基盤の改善及び経営力向上支援に関しては、相談受付時に現状分析と中長期的な計画や、経営課題の抽出・分析に重点を置き、相談の発生要因を明確化することにより、適切な支援に繋げる事ができた。また一過性の支援としないために経営者に対して各種支援の説明及び理解度向上を図ったことにより自立性の促進にも繋げる事ができた。

【主な支援実施内容】

○金融支援

コロナ後の状況における財務分析及び今後の経営計画を分析後、資金調達の是非を検討した。資金需要が発生した経緯と資金使途を調査し適正な必要資金額を確定させ、金融機関及び金融商品を選定し金融機関担当者と密に連携を図り支援を実施した。融資実行後の経過観察にも注力し資金導入効果の調査を行うことにより、資金繰りの安定化に繋げる支援とする事ができた。また、資金調達を実施しない事業者に対しては経常支出や決済条件の削減見直し等を支援した。

○記帳支援

令和5年10月から始まったインボイス制度について制度の理解度向上に努めるとともに各事業者の業種業態に応じて申請するか否かの判断基準の説明や適用した場合の各種手続き手法の支援を実施し、内部管理における理解度向上を図ったことにより、事業者の自立性促進にも繋げる事ができた。

○事業計画作成支援

経営改善及び将来に向けて更なる経営基盤拡充を図り販路拡大につなげていく事を目的として現状分析を実施した。改善項目の抽出と内部環境及び外部環境を考慮し手法の選定を行い、定量面及び定性面における中長期経営計画の作成支援を実施することで、事業運営の目的を明確化し収益基盤の強化に繋げる支援とする事ができた。

○販促強化支援

現状における販促手法を分析し、BtoB及びBtoC事業者それぞれにマッチした販売手法と計画を提案した。短期、中期、長期とそれぞれの展開・展望を明確化し目標実現に向けたプロセスを構築。独自性を持たすため他社との差別化、ターゲットの絞り込み等により競争力と販売力の強化に繋がる支援とした。

【支援の代表事例】 32-05-203

仏壇・仏具の販売をしている。近年、仏壇の販売本数が減少しており、特にコロナ禍によって激減した。墓じまいや仏壇じまいといったトレンドが広まり、先祖祀りの慣習が形骸化する傾向があり、これが継続すると、事業の基盤に大きな影響を及ぼす可能性がある。以上の要素を考慮すると、事業展開や戦略の見直しが必要となる。販売力強化を図ることが急務となっているが、当社の商品力等から同業他社との差別化を明確にし、自社の強みや弱みを洗い出し、中長期的な計画により改善ポイントを認識させることや利益率改善を図るための販促手法を指導した。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	349	380	108.9%	
支援機関等へのつなぎ	支援数	3	3	100.0%	
金融支援（紹介型）	支援数	61	63	103.3%	
金融支援（経営指導型）	支援数	45	52	115.6%	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		
資金繰り計画作成支援	事業所	5	6	120.0%	
記帳支援	事業所	56	58	103.6%	
労務支援	支援数	62	64	103.2%	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		
販路開拓支援	支援数	31	31	100.0%	
事業計画作成支援	支援数	35	35	100.0%	
創業支援	事業所	41	42	102.4%	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0		
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0		
財務分析支援	事業所	6	7	116.7%	
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	0	0		
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	0	0		
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	0	5		
結果報告	事業所	349	380	108.9%	

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門的かつ緊急性の高い様々な経営課題に対して、当所提携専門家（弁護士、司法書士、中小企業診断士、行政書士、税理士、社会保険労務士、弁理士等）と連携し事業を実施した。経営指導員同席による三者面談を随時早期に実施し、的確な対応により課題解決に向けての支援を実施した。法人設立や許認可取得、各種補助金申請等の経営力向上に資する相談の他、内部管理や社内外のトラブル等に至るまで様々な相談に対して、迅速かつ適切に対応し課題解決に導くことが出来た。

【具体的な相談内容】

法人設立等登記:13件、許認可申請:6件、法的整理:2件、補助金申請:31件、事業承継:1件、税務:24件、労働問題・労務:12件、民事・相続関係:3件、取引・契約関係:9件、知的財産権:1件、マーケティング:1件、事業計画:7件。相談企業数:107件、延べ相談件数:113件、支援日数:113日。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談日数	3	5	166.7%	
税務相談	継続	相談日数	18	24	133.3%	
金融相談	継続	相談日数	0	0		
労務相談	継続	相談日数	11	12	109.1%	
その他相談	継続	相談日数	51	72	141.2%	

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>【求人・求職マッチング事業】 市内小規模事業者の雇用促進を図ることを目的に「大阪府労働環境課」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により、障がい者・若者・中高年齢者の知識や経験、適性を生かした人材確保に向けて本事業を実施した。コロナ禍によりオンラインにて実施していた昨年度とは異なり、実際に面と向かっての説明や面接を希望する声もあったため本年度は第1回目もリアル開催とし、広報手法についても求職者の目に留まるよう工夫を凝らして周知PRを行った。直接お話ができるということで来場者も一定数あり、企業側が求める人材と求職者が求める労働条件がうまくマッチングすることができ採用に結びつくことが出来た。第2回は幅広い業種の企業が参加し障がい者雇用の相談や高齢求職者も参加できるようにしたため第1回目より来場者数が増加した。参加企業に対しては雇用関連助成金等の情報提供や採用後の管理、人材確保のための個社支援を行い、求職者に対しては適正診断や就労支援相談等を実施した。求職者数・就職内定企業数ともに一定の支援成果を得る事ができた。</p> <p>【大阪・関西万博開催に向けた気運醸成事業】 万博協会の方に2025年の大阪・関西万博開催の現時点での開催概要や今後のスケジュール、事業者としての出展についての講演会を行っていただき、大阪・関西万博への理解度向上を図った。また当日ワークショップを行うことで事業者同士が積極的に意見交換を行い、自社商品・製品の付加価値向上へ向けて普段交流することのない業種からの意見を取り入れたり、万博出展へ向けて新たな商品・製品の独自開発や共同開発を行えるよう連携を深めたりと、大阪・関西万博開催に向けて気運を高めることができた講演会・ワークショップとなった。</p> <p>【大阪府立南大阪高等職業技術専門校活用事業】 大阪府立南大阪高等職業技術専門校と連携し、4市1町の商工会・商工会議所の広域連携事業として本事業を実施した。技専校のテクノ講座によるスキルアップや施設見学会を実施し、技専校の認知度向上及び求人企業と生徒との意見交換等による人材交流や求人泉北地域の企業の垣根を越えた交流会を開催し、中小企業が抱える人材確保・人材育成・取引先の拡大等の課題解決に繋げる事を目的とした。参加企業は、技専校の活用方法と連携を理解され、今後の利用促進に繋げる支援ができた。また、企業商談スペースを設置し、新規取引先開拓、共同開発等の新規ビジネスチャンスの創出により企業の経営力向上に繋げる支援ができた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
1	求人・求職マッチング事業	50	37	74.0%	94.6	就職内定企業数	10	8	80.0%	5
2	大阪・関西万博開催に向けた気運醸成事業	50	53	106.0%	92.5	大阪・関西万博開催に向けて、自社のビジネスチャンスにつながる可能性が高まったと答えた割合	80	83	103.8%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
3	大阪府立南大阪高等職業技術専門校活用事業	120	116.5	97.1%	84.5	実務で活用できると回答する参加事業の割合	80	83.2	104.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

和泉商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業																																					
想定する実施期間		平成24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	日本の労働人口は1998年をピークに減少し続け、いまや65歳以上の人口に占める割合が29.1%となり、高齢者人口割合が世界最高となっている。また大学就職内定率は71.2%と低迷している。その様な状況の中、高齢者の就業率が25.1%と高くまだまだ働く意欲のある高齢者や、地元で就職したい意欲はあるが市内にも多数の優良企業があるにもかかわらず知らない大学新卒者や若年者などが多く、市内中小企業を認知してもらうこと及び全ての働く意欲のある人々が能力を発揮して働く事により安定した生活を送ることが出来る社会を目指す。また新型コロナウイルスにより退職せざるを得ない状況になった求職者の方々が、次の職場を一刻も早く見つけられるようにすることも目的とする。中小企業においては人材不足が引き続き深刻化している状況にある。ついては合同就職面接会・説明会を開催し中小企業と求職者のマッチングを行う事により企業の人材不足解消と雇用安定を図る。																																					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業社 50社 若年者、中高年齢者、障がい者、コロナ禍による就労困難者 等																																					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>新卒者・既卒者・中高年齢者及び障がい者、コロナによる就労困難者向けの就職説明会・面接会を実施。</p> <p>①和泉市合同就職説明会・面接会 開催日時：令和5年8月29日（火）13:30～16:00 開催場所：和泉シティプラザ 求人企業数：24社 新型コロナウイルスが第5類に引き下がった為、現地開催とした。 求人企業の発掘においては、商工会議所の広報やHP、SNS等による周知や経営指導員の巡回指導時においてニーズを収集し、募集を行い、事業へ積極的な参加を提案した。 求職者の広報については、新卒向けに就活サイトを運営している(株)ディスコへ依頼し、メール配信を大阪府、和歌山県、奈良県在住者に絞り2024卒向けに47,654件、2025卒向けに24,900件に配信した。 又、大阪府内30校の大学に対して求職者募集チラシを配布、大阪府労働環境課によるメール配信及び和泉市公式LINEでの投稿、和泉市広報へ掲載、和泉市関係団体やハローワークにおいてチラシ配布、HPを作成しインターネット広告等で幅広く広報活動を実施した。 当日は21社の各ブースを設け、求職者が興味を持った企業ブースへ行っていただき、採用担当者 と直接会社説明や1次面接、質疑応答を行っていただくスタイルとした。</p> <p>②和泉市就職情報フェア 開催日時：令和6年3月7日（木）13:00～16:00 開催場所：和泉シティプラザ 求人企業数：15社 周知・広報については和泉市全世帯に対し、市広報誌に折り込みチラシを同封し広報活動を実施した。 乗降者の多い泉北高速鉄道「和泉中央駅」JR「和泉府中駅」及び官公庁・市内公共施設にチラシ等を掲載依頼し、広く周知するとともに、企業以外に大阪府労働環境課での労働相談・情報コーナーや障がい者就労相談等6ブースを設置した。新規求人企業の発掘においては、商工会議所の広報やSNSによる周知や経営指導員による巡回指導時においてニーズを収集し、事業への積極的な参加を提案した。 また就職情報フェアについては募集企業数に上限があり、参加がかなわなかった企業が数社あり、個別対応にて求人相談を行った。</p>																																					
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府労働環境課と連携を図り、事業の周知依頼や8月の合同就職説明会、3月の就職情報フェアにおいては大阪府による労働相談コーナーを設けるなどした。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の視聴に繋げることができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。</td> </tr> </table>							①府施策連携	大阪府労働環境課と連携を図り、事業の周知依頼や8月の合同就職説明会、3月の就職情報フェアにおいては大阪府による労働相談コーナーを設けるなどした。							②広域連携								③市町村連携	市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の視聴に繋げることができた。							④相談相乗	本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。					
①府施策連携	大阪府労働環境課と連携を図り、事業の周知依頼や8月の合同就職説明会、3月の就職情報フェアにおいては大阪府による労働相談コーナーを設けるなどした。																																						
②広域連携																																							
③市町村連携	市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の視聴に繋げることができた。																																						
④相談相乗	本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。																																						
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	74.0%	満足率	94.6%																															

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業は、管内小規模事業者が直面する喫緊の経営課題である人材不足を解消すべく、「大阪府労働環境課」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により実施。求人募集企業に対しては、事前に本事業の開催趣旨の理解を図り、募集する職種の選定や合同面接会の手法等について指導を行った。結果として、支援企業数は50社の目標に対して36社の実績、求職者数は、300名の計画に対して243名の実績であった。また本事業の成果として、就職内定企業数は10社に対して8社の結果であった。</p> <p>支援企業に対する本事業実施後の変化については、採用が実現した事業者は採用後の人材育成面や雇用関係助成金等の周知及び活用促進などにより職場環境の充実化に関しても提案指導を実施。また、採用に至らなかった事業者には、本事業を含む人材確保に向けた求人票の書き方及び求人募集方法、周知方法等の再考提案を行った。</p>					
		代表指標	就職内定企業数				
		数値目標	10社	実績数値	8社	目標達成度	80.0%
	成果の代表事例	<p>求人募集に対して2名の面接を行い、2名の方が採用された。就職説明会終了後、会社訪問や工場の見学をさせていただいたおかげで、企業側が求める人材と求職者の求める職種がうまくマッチングすることができた。企業にとっても今後の経営活動に向けて適した人材を採用することにより、企業としての将来性を高める成果を得る事が出来た。</p>					
その他目標値の実績	目標値(計画)	300	目標値(実績)	243	目標達成度	81.0%	
	<p>和泉市合同就職説明会・面接会 54名 和泉市就職情報フェア 189名</p>						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>和泉市合同就職説明会・面接会の広報活動について大学生向けに約78,000件メール配信を行ったが、開封率は約3%(2,340件)で、HPへのアクセス数は多かったものの参加に至るまでには繋がらなかった。</p> <p>開催時期について8月は新卒予定者はある程度内定が決まってきており、中途採用希望者についても8月は動きが重く2月～5月頃が活発になることから開催時期については再度検討が必要である。また新卒予定者については年度内の卒業予定者だけでなく、就職活動の意欲が大きい次年度卒業予定の学生にも希望業界や職種について研究して頂く時期に設定することでより求職者と事業所とのマッチングが成立する可能性が高いと感じた。大学のキャリア支援課と定期的に相談しながら、開催時期、開催手法を見直すことも検討する。</p>					

和泉商工会議所

事業名		大阪・関西万博開催に向けた気運醸成事業							
想定する実施期間		令和5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	和泉市は関西国際空港から約30分と近いものの、2025年に開催される大阪・関西万博の会場へは通過市となる可能性が高い。しかし国内外からの万博来場者に対して通過させるのではなく、市内小規模事業者が地場産品・自社商品の販売意欲を向上させ、市内産業に万博効果を波及させることを目的に、ワークショップを開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内小規模事業者で、特に地場産品の周知や販路拡大に意識が高い事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	○開催日：令和5年11月2日（木） ○講師：公益財団法人2025年日本国際博覧会協会 会場運営局 運営管理部 担当者 ○手法：リアル開催 ①2025年大阪・関西万博 営業参加に関する講演 ②ワークショップ開催							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪・関西万博開催への気運醸成に繋がるようなワークショップの開催により販路支援を実施						
③市町村連携		本事業実施に向けての周知広報							
④相談相乗	販促マーケティング手法について支援を実施								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	53.0	支援実績率	106.0%	満足率	92.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	公益財団法人2025年日本国際博覧会協会の担当者から大阪・関西万博開催における営業参加の公募概要並びに現時点における公募スケジュールについてご講演をいただき、会場内施設の全体像と物販サービス店舗並びに飲食店舗における募集、出店イメージに関して事業者の理解度向上を図る事ができた。 同日、ワークショップを開催し、営業参加に関する情報を習得した上で、事業者自身において万博に向けた商品開発並びにマーケティング手法について、今後の事業遂行手法を検討し同業種のみならず異業種間での情報交換や意見交換を行った。 ワークショップの実施内容としては、自社の現状分析として、強み、弱み、機会、脅威を抽出するSWOT分析を行った後に5～6社のグループにより他社分析を実施。 大阪・関西万博の営業参加に向けて取り組むべき課題や手法について活発な意見交換を行った。参加者が能動的、主体的に参加し、話し合う場面が多く見られ、参加者同士の交流ができたことにより、コラボレーションやイノベーションなどが生まれる機会を提供する事ができた。 大阪・関西万博に向けて、新商品の開発やコラボ商品の検討等、活発な意見交換を行い、万博開催をビジネスチャンスとして捉えた経営力向上の機会とする事ができた。							
		代表指標	大阪・関西万博開催に向けて、自社のビジネスチャンスにつながる可能性が高まったと答えた割合						
		数値目標	80%以上	実績数値	83.0%	目標達成度	103.8%		
	成果の代表事例	国内外へ自社商品の販路を持つ事業者と飲食店や一般消費者向けに食品を販売する事業者において、将来に向けた事業計画が交わる内容があり、万博の営業参加への検討に加えて、今後双方の経営力向上に向けて連携を図っていく機会を創出できた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)								

和泉商工会議所

事業名		南大阪高等職業技術専門学校活用事業		
想定する実施期間		令和5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	慢性化している人材不足、手薄となりがちな人材育成により、小規模事業者の成長が伸び悩んでいる。また新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ情勢、円安による価格高騰、賃上げ等もあり、製造業を中心とした従業員一人ひとりの生産性をさらに高めていく必要がある。そこで、技専校のテクノ講座を活用した人材育成事業を実施し、南大阪の成長の基礎となる企業の人材育成及び労働生産性の向上を図る。また近隣の取引先を確保することにより、輸送費のコスト削減やサプライチェーンの効率化を図ることを目的とする。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	堺商工会議所・高石商工会議所・泉大津商工会議所・忠岡町商工会・和泉商工会議所の4市1町の管内の事業所を対象として実施する。簿記や表計算ソフトの活用などの事業で必要な知識向上の基礎を習得してもらう。事務職から技術職の幅広い従業員を対象とする。テクノステージ(約110社)及びトリヴェール西部地区(約20社)等の工業団地にある企業との取引を希望する小規模事業者を対象とする。		
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1. テクノ講座の実施</p> <p>南大阪技専校と連携しニーズがある2講座「表計算ソフト活用講座」「簿記入門講座」を開催し、小規模事業者に対して知識向上を図った。</p> <p><表計算ソフト活用講座></p> <p>○日 時：10月12日(木)・10月19日(木) 9:45～16:30</p> <p>○手 法：実務経験の浅い総務・経理担当者向けにパソコンを使用して表計算ソフトの活用方法について学んで頂いた。1日目はIF関数、VLOOKUP関数やRANK関数、SUMIF関数などを使用して請求書や売上表を作成。2日目はTODAY関数、DAY関数など日付時刻関数を使用して賃金計算書を作成したり、WEEKDAY関数、CHOOSE関数などを使用して出張旅費伝票を作成。</p> <p>○参加者数：22社</p> <p><簿記入門講座></p> <p>○日 時：11月10日(金)・17日(金) 9:45～16:30</p> <p>○手 法：実務経験の浅い経理担当者向けに講義形式にてリアル開催。1日目は簿記の基礎や損益計算書、貸借対照表の概要や現金、預金の処理等や仕訳の演習商品売買の処理等を学んで頂いた。2日目は各種決算手続きや消費税、法人税等の処理や決算書の読み方と活用について学んで頂いた。</p> <p>○参加者数：29社</p> <p>2. マッチング商談会</p> <p>○目的：和泉市の企業を中心に、近隣の小規模事業者との商談会を実施し、取引機会の創出を図る。来場企業については来場企業の一覧を作成し配布する。そのため双方向にとって事業内容を把握することができ商談機会の増加につながる。当日来場者に向けては来場企業同士も名刺交換や商談を行えるように来場企業 一覧を配布。またものづくり企業を始め様々な業種が掲載されているポータルサイトへも掲載することでマッチング機会の創出を図るなど、来場企業の販路開拓も実施。</p> <p>○日 時：9月14日(木) 13:00～16:00</p> <p>○場 所：大阪府立南大阪高等職業技術専門学校</p> <p>○出展企業数：62社(ブース出展50社チラシ・パンフレット出展12社)</p> <p>○来場者数：286者</p> <p>3. 企業と学生の交流事業(施設見学会)</p> <p>○目的：テクノステージ和泉やトリヴェール和泉の企業、近隣の小規模事業者に対して、南大阪技専校の施設見学会や学生との意見交換会を実施し、有能な人材が他市に流出しないよう関係性を築いた。</p> <p>○日 時：令和5年12月8日(金)</p> <p>○場 所：南大阪高等職業技術専門学校</p> <p>○参加者数：17社</p>		
	<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>			
	①府施策連携	大阪府雇用推進室人材育成課技術専門学校グループ、南大阪高等職業技術専門学校と連携して、施設や講座を周知し活用を促した。また、人材確保・雇用創出支援のため専門学校への求人募集支援も実施した。		
②広域連携	堺商工会議所・高石商工会議所・泉大津商工会議所・忠岡町商工会・和泉商工会議所の4市1町の管内事業所に事業周知を実施し、和泉商工会議所が主幹として実施した。			
③市町村連携				
④相談相乗	技専校を活用することにより販路支援や人材育成計画作成支援・労務支援にもつなげ、商談会を一過性のものでないようにした。			

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	120.0	総支援企業数(実績)	116.5	支援実績率	97.1%	満足率	84.5%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>テクノ講座については実務経験の浅い従業員を対象とし講座内容とニーズがマッチしていたこともあり多数の申込があった。また実際に受講いただくことで普段時間を取ることが難しい中小企業にとってまたとない良い機会となり講義内容も基礎から学べたことで各企業の従業員にとってスキルアップをすることができる良い機会であった。</p> <p>ビジネス商談会では企業が一同に集まり、異業種の垣根を越え情報交換・名刺交換を実施し、新たなビジネスチャンスに繋がられた商談会であった。ブースにおいては、自社製品の展示・パネル展示を行い、各企業のオンリーワンの技術・製品づくりを発信して頂き、新たなビジネスチャンスへと繋げていただくことができた。4市1町の商工会・商工会議所の連携のもと、広域にて交流会が出来た事もあって、出展企業間での交流も活発に行われていた。また、市内外から多くの来場者が参加され、商談件数の目標達成に繋がっている。ブース出展がきっかけで、多くの企業と名刺交換ができたことで、営業活動がスムーズに行うことができ、互いにWin-Winとなる取引が始まるなど好評を得た。企業と学生の交流事業（施設見学会）ではこれまで見学したことのない南大阪高等職業技術専門校の施設を見学頂くとともにそこで学んでいる生徒の授業風景を見学することで自社への雇用のきっかけ作りとなり、求人募集先の一つとしても選択肢の幅が広がり今後の技術専門校の活用に関わった。</p>							
		代表指標	実務で活用できると回答する参加事業所の割合						
		数値目標	80%	実績数値	83.2%	目標達成度	104.0%		
		成果の代表事例	<p>現在雇用されている従業員に対して、テクノ講座で学んだ事を活かしてスキルアップに繋がり事務作業の効率化を図ることができたと同時に経営者目線に立った数字の考え方をすることができ今後の生産性向上にもつながる講座となった。マッチング商談会では普段会うことのない業種の企業と名刺交換をすることができ、これまでにない視点での考え方を聞くことができ新たな発見につながり今後の事業運営をする上でのヒントにもなり良い機会であった。また今後の取引にもつながる可能性がある商談も行うことができブース出展が良いものとなった。</p>						
	その他目標値の実績	目標値(計画)	300	目標値(実績)	286	目標達成度	95.3%		
		マッチング商談会の来場者数							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>テクノ講座受講者はその後のスキル習得状況やマッチング商談会開催後は企業フォローアップを強化し、南大阪高等職業技術専門校の利用促進となるよう今後も積極的に繋げていきたい。今後もフォローアップも含め商談会に参加された企業が、もっと南大阪高等職業技術専門校を身近に感じて頂き、企業の課題解決の一つのツールとして今後も活用してもらえよう継続的に支援していきたい。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	45.0	支援企業数(実績)	50.5	支援実績率	112.2%	満足率	90.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	ものづくり、建設業等で現在雇用されている従業員に対して、技能向上を図るなど企業競争力の強化並びに事務系従業員の事務作業効率化により、生産性向上につながった。							
		指標	実務で活用できると回答する参加事業所の割合						
	数値目標	80	実績数値	83.2	目標達成度	104.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	55.0	支援企業数(実績)	49.0	支援実績率	89.1%	満足率	75.5%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	商談会を通じて、各事業者の販路拡大が期待できる。また近隣の取引先を確保することにより、輸送費のコスト削減や小規模事業者ならではの小ロットでの受注対応等でメリットが期待できる。							
		指標	商談件数(1事業所平均2社以上の商談を想定)						
	数値目標	180	実績数値	399	目標達成度	221.7%			
その他目標値の実績	目標値(計画)	300	目標値(実績)	286	目標達成度	95.3%			
	マッチング商談会の来場者数								
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	85.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	技術専門校の科目を実際に見学することで実施科目への理解度が増し、技術専門校及びそこで学ぶ生徒の技術力の認知度向上につながったとともに、学生との交流を通して、採用意欲の向上も期待できる。							
		指標	南大阪技専校の学生の採用意欲が高まったと回答する企業の割合						
	数値目標	80	実績数値	94.1	目標達成度	117.6%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				